



思いをつなぐ いのちをつなぐ

t s u n a g u

つなぐ

3.11 を 忘 れ な い
今、わたしたちにできること

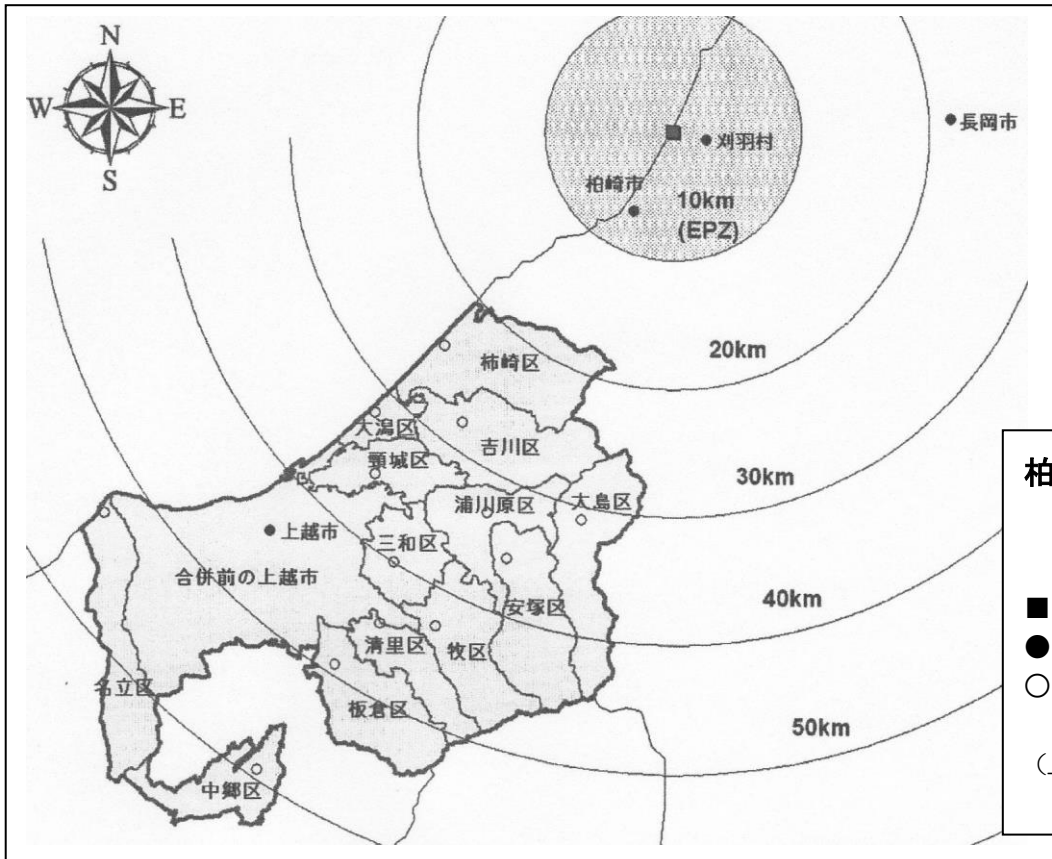
Vol. 13

2016年7月30日発行

つなげよう脱原発の輪

上越の会 会報

発行責任者：植木史将



**柏崎刈羽原発から
上越市までの距離**

■：柏崎刈羽原発
●：市村役場
○：区総合事務所

(上越市地域防災計画
一般災害対策編より)

原発事故避難計画 出張べんきょう会

柏崎刈羽原発から30km圏内の上越市吉川区で原発事故避難計画の勉強会を行いました。

原発事故避難計画って大丈夫??

◎**屋内退避は安全?**

- ・夏や冬に窓を閉め切って中にいて大丈夫?
- ・放射線量が高くなってから避難指示が出ます。それから外に出て大丈夫?

◎**避難経由所(くびき希望館)までたどり着ける?**

- ・全吉川区民のほか全柿崎区民の合計 **15,000人**が同じ避難経由所(くびき希望館)に車で向かいます。渋滞はどうなる?(ほかに柏崎市民も向かいます)

◎**避難先は安全?**

- ・福島では50キロ60キロの地点にも大量の放射能が降り注ぎました。
- ・吉川区民の向かう最終的な避難先は、およそ原発から35キロから40キロの地点です。大丈夫?

♥ 日 時：6月19日(日) 午後2:00~4:00

♥ 会 場：吉川区コミュニティプラザ 3階多目的ホール

♥ 内 容：原子力災害に備えた上越市避難計画について

放射能から命を守る 保養 について

被ばくを防ぐため、故郷を守るため、命を守るための手段の一つが脱原発です。しかし、被ばくを防ぎ、命を守るための手段はほかにもいろいろあるでしょう。その一つが保養です。

保養とは

(福島の子ども保養施設『認定NPO法人 沖縄・球美の里』ホームページ 「設立の経緯」より抜粋)

汚染された土地に今も住んでいる子どもや、事故当時被曝した子どもたちは、一定期間保養することによって、免疫機能を回復し、病気になりにくい体を作ることが可能です。「沖縄・球美の里」は、子どもたちが汚染されていない土地でのびのびと遊ぶことでストレスから解放され、汚染されていない食物を食べることで、体内被曝の進行から解放され、抵抗力、免疫力をつけることを目的としています。

チェルノブイリ原発事故の後、放射能は人々の免疫機能を冒しました。その結果さまざまな深刻な病気も発生しました。子どもたちが病気を発症するのを防ぐために、すぐれた医療に期待する人々も多いでしょう。それも大切なことです。しかし免疫機能が放射能で冒されるのを

防ぐためには、避難か保養が役立つということを、私たちは20年以上にわたるチェルノブイリの被災地救援の仕事から学びました。

「沖縄・球美の里」はそうした時間と空間を子どもに与えるための施設です。1～2週間ほどの保養では、元の場所に戻れば、すぐにまた体は元に戻るのではないかという意見もあります。確かに、保養によって抵抗力をつけても、またしばらくすると免疫機能は弱まっていき抵抗力は落ちます。だからチェルノブイリでは、抵抗力が落ちて発症する前にまた次の保養することが必要だと言われています。本当に安全な状況になるまで子どもを疎開させられたら一番いいのですが、それができない事情があるなら、この保養を繰り返すほかありません。

保養に取り組む団体

近くにも保養に取り組む団体はありますし、遠くで活動する団体にも「募金」という形で協力できます。

その一部を掲載しますので、下記連絡先やインターネットから各自で問い合わせるなどして命を守る活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

- ・【キッズふくしまイン高田】 (連絡先：025-524-3913)

福島第一原発の事故により放射能による被害を被り、遊びや生活が制限されている子どもたちを招いて春、夏2回キャンプとホームステイをしています。

- ・【池の平 de 週末保養】 (連絡先：takada_yuushikai@yahoo.co.jp)

不定期で福島県の家族に来てもらっている週末保養。中日に交流会を開催。家族で放射能のことを気にせずにご過ごしてもらっています。

- ・【新潟保養プロジェクト】 (連絡先：090-4752-7175 (須藤さん) <http://ameblo.jp/niigatahoyou>)

福島第一原子力発電所の事故により戸外遊びを制限された子供たちが、新潟でリフレッシュできる場を提供しています。

- ・【福島の子ども保養施設『認定NPO法人 沖縄・球美の里』

(<http://www.kuminosato.com/>)



大震災以降、原子力発電所の事故を経験したことにより、私の生活は大きく変わりました。

私には3人の子供がいます。当時、長男は生後3カ月でした。福島 of 自然の中でのびのびと子育てをするはずが、息子はベビーカーに乗ってお散歩をすることなく、公園でお友達と遊ぶこともなく育ち、外で何かをすることがなくなりました。

そんな中、ネットで調べているうちに、食べ物に気をつけること、放射線量の低い土地へ保養へ出ることを知りました。食べ物は汚染された食品は買わない。実家で作っている野菜と米も食べなくなりました。水もペットボトルを大量買いしました。次は保養へ出ようと考え始め、幼い息子を抱え、上の2人の子を連れて私1人ではとても不安でした。

考え悩んでいても、汚染地に住む限り、子供を守る為には保養は絶対に必要だと思いました。今では何度も保養へ出ることができています。

母子だけで家族と離れて遠くへ行くことの不安はまだあります。それよりも子供達にはきれいな土地で思っきり深呼吸をしてほしい。そんな思いで保養へ出ています。保養先ではみなさんが温かく「よくきてくれたね」「大変でしたね」と声をかけてくれます。そして私以上に福島の子供達のことを考えてくれたり、私の話を聞いて一緒に涙を流してくださいます。それだけで私の心は軽くなり、不安などなくなります。また福島へ帰ってからも頑張る力をもらって保養から戻っています。保養へ出るたびに、私達はたくさんの方々から温かさしてもらい、支え、助けてもらっています。感謝しています。

この5年が何かの節目になっているように感じます。この先も福島の子供達が保養に出られるように長く・・・細くていいので、ずっと続いてほしいと願います。

我が子達にもみなさんから頂いた温かさへの感謝の心を忘れずずっと持ち続けてほしいと伝えていきます。ありがとうございます。

脱原発フリーマーケット 不用品募集中!(^^)!

資金集めなどのため、フリマをしています。不用品の寄付をお願いします。

方法は・・・

①集まりの際にお持ちくださる

- ・毎月第3金曜日 19時から21時 市民プラザ市民活動室
- ・8月28日(日) 10時から16時 上越妙高駅・西口駅前広場

(くびき野市民活動フェスタ 2016 内にて)

②取りに伺う

下記にご連絡ください

連絡先・・・メール：leoranbo@yahoo.co.jp (タイトルに「つな脱」と記載してください)

FAX：025-530-9691 (竹内宛)

内部被曝から守るために（第8回） トマトに含まれるリコピンの研究

FBでこんな投稿を見つけました。（以下、引用）
……英国とドイツの科学者は、トマトに含まれる物質は、電離放射線の有害な影響から細胞膜を効果的に保護する、ということを発見した。FEBS レターズをもとにウェブ サイトN+1が伝えた。マンチェスター大学がキールおよびベルリン大とともにリコピンの保護効果を調べた。トマトに赤い色を与えている物質だ。この目的で、ヒトのリンパ細胞にガンマ線の作用を加えた。結果、特定の条件下で、リコピンが放射線の損傷効果から細胞膜を保護することが分かった。研究に参加したルースエッジ氏によると、リコピンの効果は原子力発電所における事故の際に放射線病の予防に応用することができ、放射線治療の有効性を高めるのにも使えるという……（N・T）



私の思い



「今ここにある幸せを体感して動こう」

池田遼光（上越市本城町）

人間は自然と一体で生かされ、自然から多くの恩恵と共に、天災をも享受してきた。我々の祖先は、自然への感謝と畏敬の念を忘れず、いのち一体で生きてきた。福島第一原発事故は、人間の核のエネルギー制御と使用の限界を明らかにしたが、原発は再稼働を始めた。世界は、不足・恐れ・不安・憎しみ・対立・絶望・諦めの負のエネルギーが渦巻き、エゴや分断による支配が人間社会を動かす。

夢と希望と幸せが実感できるために動こう。日本国民が、世界平和創造に向けた国の理想を掲げよう。本当は皆、愛と笑いと幸福に充ちた完璧な一つのいのち。

棚田で田植えをしながら静寂な時間が過ぎる。今ここに生きている奇跡を体感する。今ここですべてよし。

プロフィール：「国の理想ネットワーク」、整体ライフスクール、笑いヨガ、マクロビオテック、百姓の生き方に賛同しています。

《 活動報告 》

◆4.10(日) しゅっちょうべんきょう会(三和区)

【日時】4月10日(日) 14:00~16:00

【会場】三和区コミュニティプラザ 多目的ホール

【内容】原子力発電燃料「ウラン」に関するドキュメンタリーDVDの上映

◎子ども2名を含めて17名と、久しぶりに大勢集まりました。「原発を語るならこの映画の内容を知らな

いとダメ」「ドイツでは、このような(映画の内容の)積み重ねがあったからこそ、脱原発に踏み切ることになったのでは？」などの感想をいただきました。

◆5.29(日) 出勉前ビラIN吉川

【日時】5月29日(日) 9:30~11:00

【配布場所】吉川区内

【内容】会場周辺で、事前に出張勉強会の紹介ビラを配りました。

◎屋内退避は安全？避難経路所(くびき希望館)までたどり着ける？避難先は安全？吉川区民の皆さんに「原発事故避難計画」の問題点を知っていただく内容も記載したチラシを、たくさんの方のご協力で700枚撒きました。

◆6.8(水) 「人間の戦場」上映会

【日時・会場】6月8日(水) ①14:00~上越教育大学内 学生会館2F 喫茶 cocoloco ②18:00~上越市民プラザ 第4会議室、③20:00~上越市民プラザ 第4会議室

【主催】ドキュメンタリー映画を観る会・くびき野

【協力】憲法カフェ@上教大、つなげよう脱原発の輪 上越の会

◎パレスチナ、チェルノブイリ、福島、沖縄・久米島へ。フォトジャーナリスト広河隆一の軌跡。

♥つなげよう脱原発の輪 上越の会

代表：植木史将(090-4962-9633)



始めました。

フェイスブックはじめました。イベント情報・原発に関するホットな情報を投稿します。「いいね」よろしくおねがいします(´▽`)

カンパ募集中です

当会は会の趣旨にご賛同いただける皆様からのカンパで運営されています。ご協力よろしくお願い致します。

ゆうちょ銀行から…11260-13169471

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会

ゆうちょ銀行以外から…ゆうちょ銀行・伊弉册(一ニハ)・

普通預金・1316947

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会

◆◆編集後記◆◆

▼また一つ何の深い論議を経ないまま国の重要案件が決まってしまった。原発稼働40年という原則が、60年にいとも簡単に延長されることになったのです。経済が安全よりも優先する考えが、少しも変わっていません。一人一人の考え方を変えていく息の長い取り組みが必要と思います。

(M. T)